

設備工事情報シート	衛 生	Ⅱ－P－42	制 定	2009年4月1日
			改 訂	2015年3月1日
Ⅱ．メーカー情報	樹脂管スプリンクラーシステム		JFE継手編	

1. 目的・概要

JFE継手のEロッカーSPシステムは、以下の特徴を有する施工性に優れたシステムである。

①現場で融着作業が不要である。

②ワンタッチでEロックの接合ができる。

③スライドカバーの位置・色により施工確認が容易である。

④分離することで軽量化が図れ施工性に優れている。

⑤手直し・間取り変更の場合配管の修正が容易である。

適用範囲

消火設備の種類：共同住宅用スプリンクラー
(総務省令第40号及び告示基準)

ヘッド仕様：小区画型1種ヘッド

放水圧力：0.1MPa以上

放水量：50ℓ/分

同時開放個数：4個

2. 施工のポイント

(1) 主管とヘッダーを接続する

【めねじタイプ】
めねじの場合は、金属部分が、円周方向に回転するため、金属部分を主管側へねじ込む。

【フランジタイプ】
主管の32A×10Kフランジに対してフランジ用平パッキン30A×10Kを挟み込んでポリブテンヘッダーのフランジをフランジ用ボルトM16×L65以上（4本）で締め付けるこのときフランジの隙間が均等になるように4本のボルトを締め付ける。

注意：パイプレンチは樹脂部に掛けずに、金属部のみに掛けること。

(2) ヘッダーを固定する

ヘッダーの胴部はSGP40Aと同径であるので、市販の吊バンドにて支持固定する。標準として9分岐（9K）までは支持金具1個、10分岐（10K）以上は、2個使用する。

(3) ヘッド固定調整金具を取り付ける。

天井スラブにインサートまたはアンカーボルト(W3/8またはM10)等で固定する。

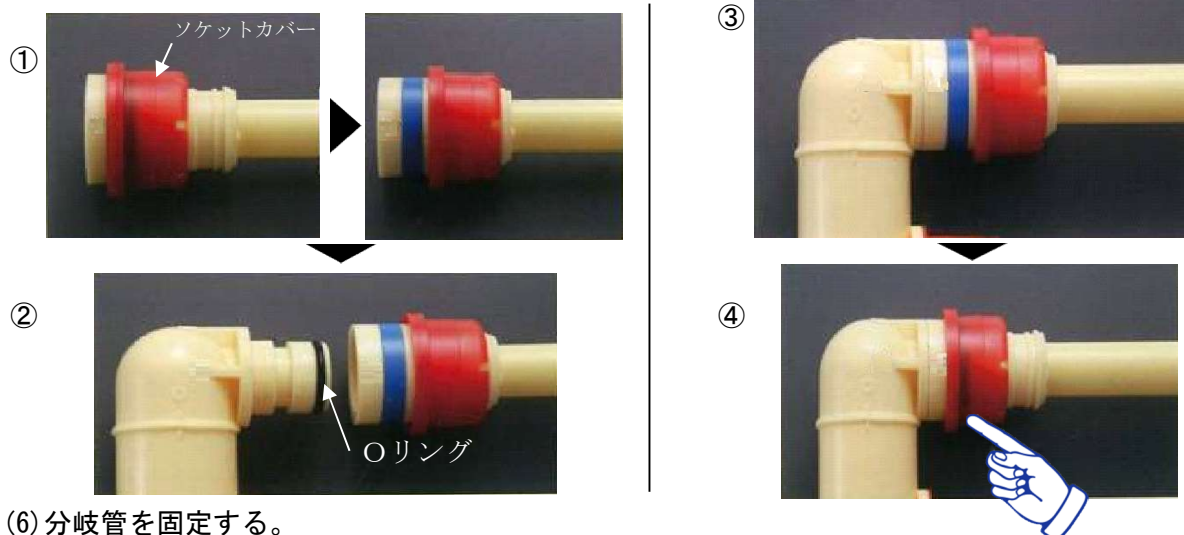
(4) ヘッド取り付けエルボを取り付ける。

蝶ネジ1本で取り付け及び高さ調整できる。

資 料

(5) 分岐管を接続する

- ①めすソケットのソケットカバーを青いストッパーリングが見えるまでスライドさせる。
- ②ヘッダー側の保護カバーをはずし、Oリングや溝部、ソケット内側にほこりやごみが付着していないことを確認する。
- ③ヘッダー本体とパイプを持ってメスソケットを挿し口に隙間がなくなるまで挿し込む。
- ④青いストッパーリングが、完全に隠れるまでソケットカバーを（元の位置まで）スライドさせる。その際、ストッパーリングがソケットカバーの上から黒く見えていることを確認する。

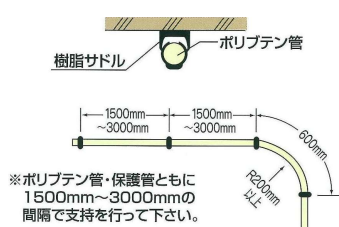


(6) 分岐管を固定する。

分岐管を所定の配管経路に沿って敷設し、樹脂サドルで固定する。分岐管の最小曲げ半径は200mmで、その支持固定間隔は最大で3mである。

(7) ヘッド高さ調整

天井ボードとSPヘッドの取り付け基準を確認し、高さを調整する。取り付け基準はSPヘッドメーカーの取説等で確認すること。



(8) エルボに分岐管を接続する。

SPヘッド取り付け用エルボ継手に分岐管を接続する。

この接続要領は、前述の(5)と同様である。

(9) 水圧検査

施工後必ず水圧検査を行い漏れ等不具合のないことを確認する。

検査区分		試験条件		
ポリブテン配管		初期圧力	保持圧力	保持時間
ケースⅠ	検査	1.00MPa	0.80MPa以上	1時間
	再検査		0.90MPa以上	
ケースⅡ	検査	1.75MPa	1.40MPa以上	1時間
	再検査		1.58MPa以上	

3. 問い合わせ先

JFE継手株式会社

東京営業部 担当 浅野

〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号

TEL. 03 (5823) 1651 FAX. 03 (5823) 1653

本社 本社営業部 担当 豊田

〒596-8585 大阪府岸和田市田治米町153番地の1

TEL. 072 (445) 6441 FAX. 072 (445) 6013